

セミナー第1部では、基本原理およびさまざまなメカニズムについてより詳細にご説明します。いわゆる初期の代謝領域を学んでいただきます。代謝領域は胎児の発生の最初の二週間に見られます。数々の例を挙げながら、A.T.スティルのオステオパシーの概念とE.ブレヒシュミットの間に関連点があることを示します。同時に、診断の観点からも治療の観点からもこれらが実践でどのような意味があるかについても明らかにします。

セミナー1 講義要項：

ホムンクルスの「形成（ゲシュタルトウング）」の基本原則

本セミナーでは、人間研究のための基本原理を三つのホムンクルス*、すなわち、神経頭蓋ホムンクルス（頭蓋骨・椎骨・仙骨系）、内臓頭蓋ホムンクルス（内臓系）、内部ホムンクルス*（運動器系、心臓血管系、泌尿生殖器系）というかたちで学んでいただきます。科学の誕生を思考モデルによってご説明します。生体力学的な代謝領域の思考モデル（さまざまな形状や領域の基本原則）をご紹介します、初期の胎児の「姿（ゲシュタルト）」の「形成（ゲシュタルトウング）」についてお話します（ホムンクルスの基盤）。また、この思考モデルをオステオパシーに応用する理論的および実践的な意味についてご説明します。

*ホムンクルスの定義：独特で理想的な人間の姿を想像して表現したもの。

*神経頭蓋ホムンクルスと内臓頭蓋ホムンクルスは、そこから派生するものの殆どが「境目の組織を起源」とするのに対し、内部ホムンクルスは、そこから派生するものが主に「内部組織を起源」とするという意味で内部ホムンクルスと呼ぶ。

★学習ポイント

- ・発生学：アナロジー（相似）かホモロジー（相同）か
- ・バイオダイナミクス（生体力学）とバイオキネティクス（生体動力学）
- ・進化
- ・分子から組織へ
- ・より小さな規模
- ・生体力学的特徴
- ・モルフォキネティクス(形態動態学)
- ・卵子から胚盤胞へ
- ・二層胚盤
- ・モルフォキネティック・フィールド(形態動態領域)
- ・体液と個体発生論



第2部では広い意味での神経系の発達について学びます。これはオステオパシーおよび頭蓋骨椎骨仙骨系の学習と比較できます。神経系は明確に分化する最初の器官系ですので、最初に取り上げます。この学習はいわゆる初期の代謝領域を応用して行われます。代謝領域はいわゆる後のモルフォキネティック（形態動態）的な代謝領域によって補完されます。硬膜帯などの用語について説明し、頬骨をはじめとする既存の構造の新たな意味をお教えします。

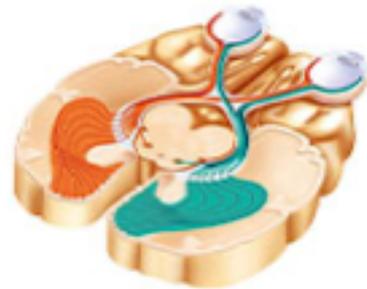
セミナー2 講義要項:

大脳化のプロセス – 神経頭蓋ホムンクルス（頭蓋骨・椎骨・仙骨系）

神経頭蓋ホムンクルスはオステオパシーでは頭蓋仙骨領域に相当します。起源となるホムンクルスの基本形と神経系との関係を全体と関連づけながらご説明します。「神経頭蓋」系の発生およびそれによって生じる諸関係、つまり神経頭蓋ホムンクルス内の構造的および機能的諸関係ならびにその他の系（内臓頭蓋系、内部系）との関係を明らかにします。これらがオステオパシーの実践においてどのような意味を持つかということに焦点を当てています。

★学習ポイント

- ・発生したてのホムンクルス
- ・定義：神経頭蓋ホムンクルス
- ・神経管
- ・軸索
- ・大脳皮質と軌跡
- ・神経数
- ・神経支配と目標器官
- ・自律神経系
- ・体節の発達
- ・髄膜
- ・硬膜帯
- ・骨性頭蓋
- ・統合体



第3部のテーマはオステオパシーと内臓系の関係の学習です。(時系列に沿って) 神経頭蓋の領域から始め、さまざまな消化系の説明に至ります。ここでは「代謝」と「消化」の概念の違いを明らかにします。消化系が全体として一つの新たな意味を帯びる理由の一つは、この違いによるものです。

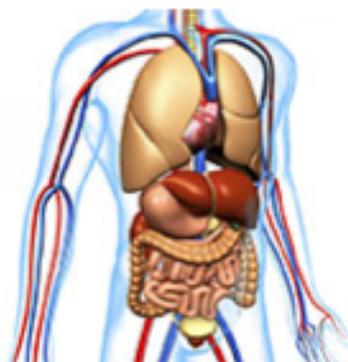
セミナー3 講義要項:

内臓頭蓋ホムンクルス (内臓系) - 下降のプロセス

内臓頭蓋ホムンクルスはオステオパシーでは内臓領域に相当します。起源となるホムンクルスの基本形と消化系との関係を全体と関連づけながらご説明します。顔面器官および胴体器官の学習が含まれます。「内臓頭蓋」系について述べ、そこから派生する関係、つまり、内臓頭蓋ホムンクルス内の構造的および機能的諸関係、ならびにその他の系(神経頭蓋系、内部系)との関係を明らかにします。これらがオステオパシーでの診断や治療といった実践においてどのような意味を持つかということ、生体力学的な代謝領域を応用しながらご説明します。

★学習ポイント

- ・ 上部消化管および下部消化管
- ・ 胚内体腔
- ・ 咽頭弓
- ・ 顔面上半分
- ・ 顔面下半分
- ・ 内臓下降 (発達における内臓の下降)
- ・ 心臓・肝臓・横隔膜
- ・ 頸部器官
- ・ 胸部器官
- ・ 腹部器官
- ・ 骨盤
- ・ 統合体



第4部、血管・泌尿生殖器・体壁とオステオパシーはシリーズ最後のセミナーです。このセミナーでは、発生に関して「まだ欠けている部分」を詳しく説明するだけでなく、これらの器官や器官系は本質的に先行する二つのホムンクルスの結果であることを明らかにします。このことは日々の実践にとって重要な意味を持ちます。

セミナー4 講義要項:

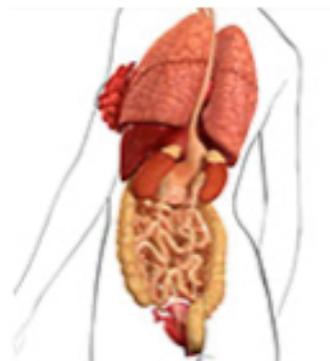
内部ホムンクルス（運動器系・心臓血管系・泌尿生殖器系）～ 軌跡

内部ホムンクルスはオステオパシーで体壁および泌尿生殖器部に相当します。ホムンクルスの基本形と運動器系および生殖器系との関係をご説明します。

このセミナーでの学習は先行する二つのホムンクルス（神経頭蓋ホムンクルスおよび内臓頭蓋ホムンクルス）を統合した全体としてのホムンクルスというかたちで行われます。ここでは血管やその他の体液の通路（尿管、生殖管）の持つ意味が明らかとなります。内部ホムンクルス内の関係は、他の二つのホムンクルス内にも見ることができます。内部ホムンクルスそれ自体が一つの系ですが、神経頭蓋ホムンクルスおよび内臓頭蓋ホムンクルスの形成の制御もします。診断でも治療でも、オステオパスの実践において、内部ホムンクルスを統合体としてみなすことができます。

★学習ポイント

- ・ 流体と軌跡
- ・ 心臓
- ・ 血管
- ・ リンパ管
- ・ 腎臓
- ・ 副腎
- ・ 生殖管
- ・ 骨盤と生殖腺
- ・ 骨盤隔膜
- ・ 四肢
- ・ 統合体



講師紹介：Jean-Paul Höppner D.O. MRO

青少年時代から自然や生命体の複雑さに関心を持ち、1980年代初めに医学の道に進みますが、解剖学に対する強い関心から進路を変更し、オステオパスになる道を選びました。

1987年、ブリュッセル自由大学にて解剖学（剖検）の課程を修了し、以降1995年まで形態学・実験解剖学部の解剖標本係に従事しました。ベルギー在住ですがルーツはドイツにある為ドイツ語を母国語とし、E. Blechschmidt(ブレヒシュミット)教授の文献を原語で読み正確に理解することができます。30年以上に渡る絶え間ない研究と飽くなき好奇心は、ブレヒシュミット教授の考え方にヒントを得て、形状の意味に関する新たな視野を切り開くことになりました。

A.T. スティル博士とE. ブレヒシュミット教授の文献を読み比べてみて、私は「二人とも原理については同じ見解だが、それぞれ表現の仕方が異なるのだ」という結論に至りました。

1992年からハイデルベルグ大学で解剖学の特別課程をスタートし、現在でも様々な国から勉強に来る若いオステオパスに解剖学（剖検と人体発生学と組織学から成る「本物の解剖学」）の実践的な勉強を終える機会を提供しています。

また1994～2000年までドイツ、ベルギー、オランダのカレッジ・サザーランドで解剖学、人体発生学、実践オステオパシーの講義を行いました。

2002年からはブレヒシュミットによる代謝パターン、及び日々のオステオパシーの実践にこれを取り入れることについての講義を行い、私の知識をヨーロッパ中のオステオパスと共有しています。



FOSG代表挨拶

Jean-Paul Höppner D.O. (以下へップナー先生) は、最初に医学部に入学しましたが、解剖学への強い関心から進路を変更し、オステオパスになる道を選んだ異色の経歴の持ち主です。そして、形状の意味を理解するために行き着いたのがブレヒシュミットの発生学であり、1987年以降飽くなき好奇心を持って研究を続けています。

この解剖学への探究心と、オステオパスであり、またドイツ語を第2の母国語としブレヒシュミットの発生学を原語で正確に理解する事ができる事がへップナー先生の強みであり、その理解を何よりも“生きた解剖学”を扱う臨床で活かす事に焦点を当てています。へップナー先生と初めてお会いしたのが2018年のモントリオールのシンポジウムですが、彼の情熱とエネルギーに自分の内側が強く惹きつけられたのをよく覚えています。

“機能によって形状がつくられる”

“形状はその発展の歴史を「現在」に映し出し、未来に向けて今後どのように変化していく可能性があるかも「現在」に示している。”

“人体発生学は形態学と形状の重要な一部であると私は考えており、人体発生学は解剖学の基本的土台である。”

へップナー先生は形状に関してこのように述べています。

ブレヒシュミットの発生学を通して、発生過程をダイナミックに理解していく事、その原理とメカニズムを理解する事は、知識を広げるだけでなく、オステオパシーを実践して行く上で必ず役に立つ事でしょう。発生学の一連のストーリーを系統立てて学ぶ事のできる機会は大変貴重であると言えます。

へップナー先生に、この講義を学ぶにあたって事前にスタンダードな発生学を終わらせておく必要があるかどうか質問したところ、“最初（受精）から始めるので（スタンダードな発生学の知識は）必須ではありません。発生学の知識がない場合、自分の考え方を変える必要がないので、有利ですらあることもあります。（発生学を学んだ人はセミナーを受けることによって発生学についてのそれまでの自分の考え方をえざるを得なくなるが、発生学についての知識がない人はすんなり入って行けるので有利だと言えることもあるという意味）”との回答を頂きました。理解しやすいようにシンプルに何度も繰り返しながら講義を行っていくとの事でした。さらに受講者は復習のために、受講者のみが視聴可能な動画のリンクへのアクセスする権利も付与（4回目終了の6ヶ月後まで有効）されるため、しっかりと自分のペースで学びを深めていけるはずで、この形状への理解を深めて行く事は、皆さんの臨床においての“構造（形状）を通して生命力に働きかけていく”という仕事をより強くしていくものであると思っています。

[セミナーお申込みとお支払について]

当セミナーは4回シリーズのセミナーとなり、お申込みをいただきましたら第2部～第4部への再度のお申込みは不要となります。但し、次の部からの参加を辞退される場合はご連絡を頂けましたらキャンセルをすることができます。代金は一部毎のお支払いとなります。

[セミナーの開催時間について]

当セミナーは従来は3日半のセミナーですが、ベルギーとの時差を考慮し1日あたりの時間を短縮して日数を増やし、5日間での開催となります。時差の関係で、**開催時間がこれまでの対面でのセミナーと異なり、15:30～21:15となります**のでご注意ください。

第2部と第4部はベルギーのサマータイム期間外ですので、第1部の開催時間より開始及び終了時刻が30分～1時間位遅くなる可能性がございます。

また第3部と第4部に関しましては、コロナ感染状況やその他条件が整った場合、参加者のご希望もお伺いした上で対面授業になる可能性がございます。その場合は2023年7月に第3部と第4部連続で8日間(3日半×2)の開催となります。(現時点では4回ともオンラインで開催する予定です。)

[著作権について]

セミナーは著作物であり、著作権が発生します。講師や主催者へ無許可で録画したり、動画や資料等の当セミナー受講生以外への譲渡、交換、売買、上映、インターネット上等で公開したりした場合は著作権法違反となり、違反すると法律で罰せられることがあります。また講師や主催者への賠償責任が発生する可能性があります。くれぐれもご注意をいただきますよう、何卒どうぞよろしくお願いいたします。お申し込みの際に同意文書をお読みいただき、同意の上でお申し込みいただきますようお願いいたします。

[復習のための動画リンクへのアクセスについて]

第1部のセミナー終了後、第1部のセミナーの録画が見ることができるリンクにアクセスできます。リンクは第2部のセミナーまで有効です。第2部のセミナーが終わると、受講者は第1部と第2部のセミナーの録画が見られるリンク(第3部のセミナーまで有効)にアクセスできます。第3部のセミナーが終わると、受講者は第1部、第2部、第3部のセミナーの録画が見られるリンク(第4部のセミナーまで有効)にアクセスでき、第4部終了後の録画へのアクセスは6か月間有効となります。**このリンクへのアクセスの回数に制限はありませんが、複製はできません。この録画に関しましても、受講者個人の復習目的のみに使用すること、複製をしないこと、セミナーを受講していない人と共有しないことに同意するものとします。**

✳参加資格： 「Fulcrum の概念と臨床への適用 I」 セミナーを修了した方

✳受講料金： 第1部5日間 138,600円 (126,000円+消費税)

*セミナー代金には資料代も含まれています。

*第2～4部の受講代金に関しまして、為替レートの変動や対面講義になった場合(3部と4部)には代金に変更となる可能性がございます。

✳締切： セミナー開催日の7日前までにお申し込みください。ただし、定員になり次第締め切りとさせていただきます。6月下旬時点で最小催行人数に達しない場合は、セミナー開催を中止とさせて頂く可能性がございます。

✳申込み方法： メールに添付されている申込みフォームの URL にアクセスし、必要事項をご入力の上、お申し込みください。

申込フォームが届きましたら、必ず FOSG 事務局からメールにてご連絡させていただきます。お申込みいただいてから3日程経っても連絡がなければ、メールの不具合の可能性がございますので、一度お問い合わせいただきますようお願いいたします。

【お申込み後の流れ】

申込みフォームを送信いただきますと、まず自動返信メールが届きます。

↓

その後3日以内に、FOSG 事務局より申込みを受付したメールが届き、その時点で正式なお申込みの受付となります。

↓

その正式なお申込み受付メールが届きましたら、10日以内に下記(次頁)口座へ受講代金をお振込みいただきますようお願いいたします。お振込みいただきましたら、セミナー受講受付完了となります。

↓

具体的な参加の手順の詳細につきましては、受付後に FOSG 事務局からご連絡いたします。オンラインセミナーへのご参加に不安のある方はいつでもお問合せください。

✿お振込先：ゆうちょ銀行

口座記号番号：00980-6-172237

口座名義：フルクラム オステオパシー スタディグループ

【他銀行からの振込みの場合】

店名（店番）〇九九（ゼロキュウキュウ）店（099）

預金種目：当座

0172237

*お振込の控えをもちまして領収書とさせていただきます。

✿キャンセル：セミナー開催日の7日前より、キャンセル料が発生いたします。

キャンセル料金は下記の通りです。

7日前～前々日	セミナー料金の20%
前日	セミナー料金の50%
当日	セミナー料金の100%

✿セミナー資料：セミナー開催日の7日前に、セミナー用資料をメールにてお送りいたします。その内の講義用資料につきましては講師の使うプレゼン資料の翻訳版となっており、書き込みも可能なノート形式になっていますので各自で印刷する等ご準備いただきますようお願いいたします。

	F.O.S.G. Fulcrum Osteopathy Study Group
〒530-0044	大阪府大阪市北区東天満 2-4-16 シャルムヒルズ南森町 1F
	FAX：06-6948-5671 お問い合わせ：info@fulcrum-osteopathy.jp
	*月曜と金曜はお休みさせていただきます。